

たくみ

T A K U M I

No.015

平成16年2月●新春号

信州名匠会

(題字：故 池田三四郎 前名誉会長)

「スリースター制度」29名に認定書を授与

平成15年度総会開催

創立10周年記念事業「たくみ文庫」第1巻創刊 で藤森鉄平石(株)に感謝状

平成15年6月25日、長野市・メルパルクNAGANOにおいて、信州名匠会通常総会が開催されました。会場には、4月の定例研修会で参加者が制作した陶芸作品を展示。総会では、当会の創立10周年記念で創刊した「たくみ文庫」の第1巻として、創業100年の歴史をまとめた本を発行した藤森鉄平石株式会社（藤森慶一社長）に感謝状と記念品を贈りました。つづいて、本年度事業報告と会計・監査報告、平成15年度事業計画・事業予算の決定、およびスリースター認定者の認定証授受を行いました。



73名（懇親会には56名）が出席して開かれた総会

講演会では、都市研究家で清泉女学院大学教授の東秀紀先生に、「谷口吉郎と長野の匠の出会い」と題して語っていただきました。

恒例の親睦ゴルフ大会は翌26日、信濃ゴルフ倶楽部で開催。夏空のもと14名が参加して真剣に腕を競いながら、会員相互で和やかな談笑のひとつときを楽しみました。



あいさつする宮本忠長会長



宮本会長から感謝状を受ける藤森会長（手前）と藤森社長

■ 親睦ゴルフ大会順位（敬称略）

優勝 藤森慶一／藤森鉄平石(株)
準優勝 西宮武久／(株)綿内瓦工業
3位 町田幸一／(株)町田電気商会
4位 鎌倉良収／(株)鎌倉木材店
5位 水沢仁亮／(株)二見屋

ほかの参加者●藤澤浩志／(株)シンテック北信越支店、森山充／田島ルーフィング、竹内公夫／(株)ビホームテクノクリエート、吉田雅彦／(有)スタジオオスペースツ、坂田守夫／坂田工業(株)、五明京子／(株)五明、西澤嘉雄／(株)宮本忠長建築設計事務所、内山保／朝陽工芸(有)、岸本貴志／(株)本久

平成15年度通常総会 記念講演会

「谷口吉郎と長野の匠の出会い」

都市研究家、作家、清泉女学院大学人間学部文化心理学科教授 東秀紀先生

平成15年度通常総会当日に開催された記念講演会で東先生は、建築家・谷口吉郎氏と信州人との関わりについて語りました。

『ヒトラーの建築家』

故・谷口吉郎さんは、金沢市の九谷焼の窯元で生まれ育ちました。地域柄からか、職人の技などをたいせつにする建築家でしたが、その背景には、木曽郡山口村の藤村記念館の建設を通じて出会った村人の影響があります。



昭和13年、東京帝国大学の伊東忠太教授の推薦で、谷口さんは、ドイツ・ベルリンに派遣されました。当時は、アドルフ・ヒトラーが権力を握っていたナチス全盛の時代。ヒトラーは、都市計画や建築に高い志をもっており、若き建築家シュペーアに建築家として最高の権力を与えていました。シュペーアは、ベルリンの都市計画を統括しており、当時は彼の許可がなければなんにも着工できなかったといえます。こうしたなか、日本大使館の庭園だけは、日本人が設計することが許され、基本設計を谷口さんが行うことになりました。

私は、3年ほど前『ヒトラーの建築家』という本を書きましたが、谷口さんの息子さんの話を聞いたり、ほかの記録を見たりすると、彼がシュペーアの建築に強い印象を受けたのはたしかですが、ヒトラーを尊敬してはいなかったことがわかります。

信州名匠会創立10周年、 「たくみ文庫」を創刊

信州名匠会は、創立10周年を記念して、「たくみ文庫」を創刊し、その第1巻として、『素を磨き、用を拓く～藤森鉄平石百年のあゆみ』を上梓しました。

「たくみ文庫」は、信州名匠会の会員・賛助会員が、自身の経営理念や長い歩みをふまえた将来への展望を1冊にまとめ、技術の伝承や後継者の育成、事業発展に役立てることをめざしています。信州名匠会が編集と発刊のお手伝いをさせていただくことにより、「たくみ」の個人的な出版では望みえない効果をその「たくみ」にもたらし、ひいては建設産業やわが国の生活文化の向上に役立つことを願っています。

『素を磨き、用を拓く』は、A4判56ページ(カラー20ページ)。1905(明治38)年の創業から3代100年間、

信濃の人々との出会いと交歓

終戦を迎え、2～3年の間、谷口さんは「自分はこういうことをやっていくのか」と模索していました。そのとき、舞いこんできたのが山口村馬籠宿の「藤村記念館」建設の話でした。島崎藤村の生家は、戦火で焼け、その礎石だけが残っていました。村人がそれを復元して、記念館を造ろうと、谷口さんに頼むことになりました。

記念館は、全体を外構で囲むように、村人の素朴な手仕事で造られました。老人から小学生にいたるまで工事に励んだ意味のあるものでした。

どうしてみんなが携われたのか。それは、馬籠の人々が、自分で水車とか農具などを作る技術を見につけていたからでしょう。信濃の「匠の技」が複数の村人たちのなかに隠されていたのだとおもいます。谷口さんは、昼間はいそがしい村人たちが、夜になって部材や柱を運んでいる姿を見て感動したと述べています。

彼に深い印象を与えたドイツのシュペーアの建築は、金にいとめをつけられないものでした。それとは違う、信濃の人との出会いのなかで、谷口さんは、自分なりの建築手法を見つけていったのではないのでしょうか。

鉄平石の採掘から加工、施工をつづけてきた藤森鉄平石(株)(諏訪市)の歴史、経営理念、施工例などを、豊富な写真とともに紹介しています。「協働創発」と題した対談では、同社の藤森吉三会長と当会の宮本忠長会長が、同社の採石現場で、鉄平石の魅力と将来性について語りあっています。

本書発刊のご英断をされ、編集作業の労を快くおひき受けくださいました。藤森会長、藤森慶一社長をはじめ従業員みなさまに、こころより感謝を申し上げます。

価格は1,500円(税込)。お申込は信州名匠会事務局へ。平安堂長野店、諏訪店などでも販売しています。



たくみ文庫第1巻として発刊された「素を磨き、用を拓く」

■8ツ星1名、7ツ星3名、5ツ星2名の 新認定者が誕生

～スリースター制度新規認定者紹介～

「スリースター制度」は、月1回の定例研修会に熱心に参加している会員の努力をたがいに認めあい、その誇りを励みに日々の仕事を高めあおうと、平成11年に創設されました。研修会へ1回出席することに1単位を加算し、10単位で星1つを与えます。発定から4年を経て、今年度は8ツ星認定者1名をはじめ1ツ星までの新規認定者29名が誕生し、通常総会において認定証を授与されました。貴重な研さんの場である定例研修会への、会員諸氏の精力的な参加に、ますます期待が高まっています。

◆「スリースター制度」平成14年度認定書授与者

(平成15年6月現在、五十音順、敬称略。○は今年度の新規認定書授与者)

☆☆☆☆☆☆認定者(8ツ星1名)

○西澤嘉雄/(株)宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆☆☆☆認定者(7ツ星3名)

○坂田守夫/坂田工業(株)
○五明良平/(株)五明
○堀誠/堀建築設計事務所

☆☆☆☆☆☆認定者(5ツ星2名)

○宮下恒夫/サンコー特機(株)
○水沢仁亮/(株)二見屋

☆☆☆☆☆☆認定者(4ツ星7名)

西宮登喜男/(有)綿内瓦工業
○小川明/建築工房空
○谷畑稚佳子/(株)宮本忠長建築設計事務所
○伊藤章/(有)アキ・プランニング

○岸本貴志/(株)本久
○中村光敬/(有)中村木工所
○宮本忠長/(株)宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆☆認定者(3ツ星9名)

岡澤元彰/(株)本久
大井芳也/(株)山二
山本耕平/長野サウナ販売(株)
高梨廣男/(有)高梨建築
○鈴木隆/ルームデザインハウス
○宮澤郁夫/宮澤建築
○竹内公夫/(株)ビホームビホームテクノロジー
○渡辺昌祺/渡辺硝子建材(株)
○左右田昭道/(株)インテック左右田

☆☆☆☆認定者(2ツ星16名)

倉橋英太郎/(株)倉橋英太郎建築設計事務所

久保敏幸/(株)さつき苑
町田幸一/(株)町田電気商会
増田幸雄/匠建設(株)
宮川裕行/三ツ友建築企画
関克弘/坂田工業(株)
溝端利一/MEデザイン室
樋口豊/(株)ライフエンジニアリング
池内信二/(株)山翠舎
田幸康信/(株)電弘
○上別府志郎/石材彫刻家
○高波和由/キャスト(株)
○山崎邦男/山崎工務店
○井内八雄/(株)井内工務店
○大庭修/(株)トライアン
○鎌倉良収/(株)鎌倉材木店

☆認定者(1ツ星18名)

宮崎三雄/(有)アルファ測量設計
山田一忠/インテリア販売ヤマダ
柳沢邦夫/(有)柳沢木工所
矢島建二/(株)矢島工務店
藤森吉三/(株)藤森鉄平石
山中袈裟嗣/山中桐箱店
平沢真司/平沢塗装店
松下重雄/(有)みすゞ設計
坂戸雄世/サカト産業
塚田廣実/塚田住建
五十嵐厚生/(株)井内工務店
荒井徹/(有)デザインテック
○東出輝彦/ステンドグラス作家
○田澤良夫/(株)田澤工務店
○山崎慎一郎/(有)山崎屋木工製作所
○吉田雅彦/(有)スタジオスペースツー
○高木茂実/松田産業(株)
○市村友慎/(株)宮本忠長建築設計事務所

●研修会で制作の陶芸作品を展示

通常総会会場では、4月26日の定例研修会にて、雪しろ窯の主人村越久子さんの指導で会員が制作した陶芸作品を展示し、出席者が思いおもいに鑑賞を楽しみました。今年も傑作には「宮本会長賞」、「村越久子賞」などそれぞれ賞が贈られました(敬称略)。

○宮本会長賞 井内八雄/(株)井内工務店 ○村越賞 鎌倉みゆき/(株)鎌倉材木店
○馬場賞 西澤嘉雄/(株)宮本忠長建築設計事務所 ○吉田賞 西澤千恵 ○笹川賞 西宮瑞喜/(有)綿内瓦工業 ○降旗副会長賞 宮下恒夫/サンコー特機(株) ○井内副会長賞 坂田守夫/坂田工業(株)



平成15年度 信州名匠会 年間スケジュール

A：学習 B：見学・実習 C：交流

平成15年

6月25日(水) 通常総会・講演会・懇親会
6月26日(木) 親睦ゴルフ大会 C
7月23日(水) 第1回研修会「宮本会長のはなし」A
8月27日(水) 第2回研修会「信州木造塾のあらまし」A
9月24日(水) 第3回研修会「現場見学」B
10月28日(水) 第4回研修会 県産材利用
「信州の木で造る私たちの暮らし」A
11月8～9日(土日) 研修旅行「愛知県(名古屋)の建築」A、B、C
12月17日(水) 第5回研修会「日本刀の魅力」A

平成16年

1月21日(水) 新年会 C
2月25日(水) 第6回研修会「建築金物について」A
3月24日(水) 第7回研修会「降幡副会長のはなし」A
4月24日(土) 第8回研修会「制作教室」B、C
5月26日(水) 第9回研修会「現場見学」B
6月23日(水) 平成16年度 通常総会
*研修会 場所：長野会場 (株)宮本忠長建築設計事務所
松本会場 (株)降幡建築設計事務所
時間：18:30～20:30
*研修内容・場所・日時については変更もあります。

吉岡文庫育英会より本年度も研究補助金20万円

定例総会の席上、新建築社・吉田義男会長（信州名匠会顧問）より、(財)吉岡文庫育英会の研究補助金として20万円が信州名匠会に給付されました。同育英会からの給付は、5回目で総額110万円に。名匠会では育英会と補助金の趣旨が未永く反映されるような活用方法を検討しております。こころより感謝を申し上げます。

平成14年度 信州名匠会 事業報告

- | | |
|--|--|
| 6月21日(金)第10回通常総会・講演会・懇親会 | 12月18日(水)第5回研修会「空調設備について」参加者 20名 |
| 6月24日(月)「たくみ」012 初夏号 発刊 | 12月25日(水)忘年会(四川楼)参加者 35名 |
| 7月24日(水)第1回研修会「タイルについて」参加者 22名 | 平成15年 |
| 8月10日(土)親睦ゴルフ大会(信濃ゴルフ倶楽部)参加者 11名 | 1月15日(水)「たくみ」013 新春号 発刊 |
| 8月28日(水)第2回研修会「木造住宅の構造を考える」参加者 29名 | 1月30日(木)新年会(四川楼)参加者 31名 |
| 9月25日(水)第3回研修会「日本刀の魅力について」参加者 35名 | 2月28日(金)第6回研修会「曳屋工事について」参加者 25名 |
| 10月22日(火)まちづくりに取り組む「街なみ修景プロジェクト」、
参加メンバーを募り発足 | 3月10日(月)シンポジウム「環境と健康を守る森と住まい」
(長野県住宅部主催)に参加 参加者 14名 |
| 10月25日(金)第4回研修会「住環境問題への取組みについて」
参加者 21名 | 3月26日(水)第7回研修会「ステンドグラスについて」
参加者 30名 |
| 11月 9～10日(土、日)研修旅行「福島県 会津若松の建築」
参加者 23名 | 4月26日(土)第8回研修会「陶芸教室」参加者 23名 |
| | 5月28日(水)第9回研修会 「集成材について」参加者 24名 |

定例研修会●Report

(平成15年5月～平成15年10月)

平成14年度第9回研修会 【集成材について】

平成15年5月28日

講師：齋藤木材工業（株）木造技術課 坂田典之氏

参加者：24名

集成材の魅力と課題

齋藤木材工業では、松本の「やまびこドーム」、世界最大スパンの木造ドーム「樹海ドーム」（秋田）、木造車道橋などを手がけておられます。坂田さんは集成材の



定義を「厚さ2cm～3.5cm、幅 7.5cm～20cm程度の鋸挽きされた板（この板をラミナと呼ぶ）を最低2枚以上積み重ね、各々の板同士を強力な合成樹脂接着材で完全に一体となるように接着した材料」と説明。特長として、1) ラミナの積層効果による強度性能が平均値で同樹種素材の1.5倍、2) 素材を十分に乾燥して使用することができ、狂いや割れも著しくすくない、3) 耐火性能の高さなどを上げました。課題として、品質に課題がある安価な外国産の流通や、林業育成と環境対策のために長野県が進めてきた間伐材を集成材に加工する政策と実際の需要とのバランスが崩れている現状などを指摘されました。

平成15年度第1回研修会 【建築士制度および善光寺一山と世界遺産について】

平成15年7月30日

講師：宮本忠長建築設計事務所 宮本忠長氏（当会会長）

参加者：33名

「世界遺産に相応しい環境整備を」

宮本会長は現在、日本建築士会連合会の会長を務めております。同会が準備を進めている「専攻建築士制度」について、各建築士の専門領域を明示し、専門的な資格として

制度化するというものと説明。専門領域の能力を継続して高めていけるよう、CPD（継続職能研修）制度の確立にも力を入れる方針を語りました。また、善光寺の世界遺産登録



に向けた動きについて。「城山周辺を仏都に相応しい荘厳な森として里山の風景を創り、善光寺平を一望する高台に江戸時代を実現しなかった五重ノ塔を建立する」、「宿坊の保存のため、重要伝統的建造物群保存地区としての選定を目指している」、「世界遺産に相応しい環境整備を行って行きたい」と語りました。堀誠氏より、職人の技が善光寺の世界遺産登録に向けた動きのなかで、重要視されるとの指摘があり、名匠会の役割を確かめあいました。

平成15年度第2回研修会 【大工仕事について】

平成15年8月29日

講師：宮澤建築 宮澤郁夫氏

参加者：30名

「身についた事は忘れません」

三郷村で大工を営まれている宮澤氏は、17歳で大工の道に。入母屋を得意とする親方のもと、入門当時は、土台



から柱へ、柱から桁へほぞ穴を掘り、貫穴を開ける作業のくり返しで、修行（年季）5年のうち2年は、穴掘りをつづけたそうです。近年、

穴掘りも機械で簡単に開けられて生産効率も格段に良いそうですが、宮澤氏は若い見習いたちに手でも覚えてもらうことにしているそうです。「からだで覚え、身につけたことは忘れません」。宮澤氏はこれまでをふり振り返り、「親方に出会えたこと。降幡廣信氏（本会副会長）と出会い、降幡氏より中村昌生氏（京都工芸繊維大学・名誉教授）を紹介されて、数奇屋・茶室建築に携わることができました」と感謝のこたばで締めくくりました。

平成15年度第3回研修会 【松本市民会館改築事業工事現場見学会】

平成15年9月23日

講師：伊東豊雄建築設計事務所 竹内甲一氏・横田歴男氏
参加者：29名

「周辺環境を考えて」

現場は、松本駅より東に800メートルの場所にあり、隣接する松本市美術館（設計：宮本忠長建築設計事務所）やあがたの森をふくめた教育文化ゾーンとしての整備が進められています。設計者選定のためのエスキースコンペ（平成12年9月、10社により最終選考）で伊東事務所案が最も評価された点として、規模の大きな大ホール舞台（フライトワー）を敷地の中央へ配置し、隣接する深志神社や周辺への圧迫感を押さえるとともに、既存の樹木を残すなど、周辺環境を考えた点が挙げられます。建物は鉄筋鉄骨コンクリート造一部鉄骨および鉄筋コンクリート造。建物のスクウェア（四角形）な部分の内外装には本会賛助会員である株式会社シンテックが扱われる「アルセライト」が使用されています。「アルセライト」は再生アルミと廃ガラスから作るガラスパルーンを原料とし、これを鋳型に入れて鋳造したもので600角の板状。使用後は加熱溶解によってアルミニウムとセラミックに分離し、再利用出来ることなどからエコマークの認定を受けています。今秋開館後は、サイトウ・キネン・フィスティバルをはじめ、芸術文化祭、アマチュア演劇フィスティバル等の拠点としての活用が期待されています。



ず、50cm×30cmの枠のなかへ下地となる白色のプラスターを塗りました。現場では見慣れたコテですが、いざ使ってみると扱いは難しく、参加者のある方は恐

るおそるコテを枠のなかへ運び、またある方は豪快に枠から溢れんばかりの材料をコテでおし広げていました。下地が塗り終わったところで枠へはみ出した部分を濡らした刷毛で拭き取ります。その後、下地の上に何枚かのモミジや木の葉を散らし、仕上げとなる聚楽壁を塗りつけます。下地とは異なり薄付けとなり、また木の葉に凹凸がありコテが滑りにくく難易度が高くなります。しばらく乾燥させてから、木の葉を慎重につみ上げると鶯色のなかに下地の白色が鮮やかに木の葉の形で浮かびあがりました。飯泉氏より、左官仕事の住宅とビル建築との違いや、左官業のこんごについてお話をいただきました。

「建築家 林雅子展・長野」に参加、協賛

第16回長野市景観賞を受賞した長野市のアイビスクエア（守谷ビル）で、9月14日から23日、同ビル設計者である林雅子氏の作品模型や設計図面を展示する「建築家・林雅子展・長野」が開催されました。当会は、8月の理事会において協賛（協賛金10万円）を決定。会員に参加を呼びかけました。初日、「トークセッション 林雅子さんの空気」で宮本会長は、「東京から長野に戻り、市内の第一等地に建設されたこの建物を見た時、形や1階を開放した通り門の構えが斬新で、すばらしいことに驚いた。地方で建築する人に勇気を与えた」と林氏の功績をたたえ、「外はみんなのものという考えが空間に漂っている。まちづくりの考え方に影響を受けた」と建築に対する理念の先見性を説明しました。



トークセッションにて。手前から、宮本氏、アイビスクエア・リニューアルの施主で(有)エム企画社長の木島千恵子氏、林雅子氏にゆかりのある象設計集団代表取締役・富田玲子氏、(株)日建設計名譽顧問で林雅子氏のご主人・林昌二氏。

平成15年度第4回研修会 【左官業にたずさわって】

平成15年10月30日

講師：(有) エスピー飯泉 飯泉勝司氏
参加者：22名

「コテの使い方を体験」

飯泉氏の厚意により、参加者に左官の仕事を体験してもらうという風変わった、実習的な内容となりました。ま

●新会員紹介（平成16年2月現在。敬称略）職種★氏名★会社名★住所★TEL

【会員名変更】（前→新）

個人会員○両角博文→望月好一★(株)インテック左右田

賛助会員○左右田昭道→左右田光★(株)インテック左右田

○事務局★中澤幸介→神主英子★(株)新建新聞社

【退任】○事務局★谷畑稚佳子★(株)宮本忠長建築設計事務所